

# 日本社会科教育学会 第73回全国研究大会（東京学芸大学・筑波大学共催）のご案内 1次案内・オンライン開催

日本社会科教育学会会長・第73回大会実行委員長 大澤 克美

第73回全国研究大会を開催することとなりました。この間、コロナの拡大とそれに対する様々な対応、さらにはロシアのウクライナ侵攻や様々な国際的な紛争が起こり、日々、我々の生活と社会との関わりを考えざるを得ない状況が続いてきました。世の中が激変していく中で社会科として児童・生徒たちに何ができるのか、皆さんと一緒に考えてみたいと思います。

当初、茨城大学にて開催予定とお知らせしましたが、筑波大学と東京学芸大学の共催にてオンライン方式による開催となりました。ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。

1. 期 日 2023（令和5）年 10月28日（土）・29日（日）
2. 会 場 オンラインによる開催（ビデオ会議システム Zoom）
3. 主 催 日本社会科教育学会 日本教育大学協会全国社会科部門

## 4. 日 程

第1日目 10月28日（土）

8:30 9:00 12:00 13:30 16:00 16:15 17:00

受付	自由研究発表 I	昼食 評議員会	シンポジウム	休憩	総会
----	----------	------------	--------	----	----

第2日目 10月29日（日）

8:30 9:00 12:00 13:00 15:30

受付	自由研究発表 II	昼食	課題研究発表
----	-----------	----	--------

## 5. シンポジウム

テーマ : 地域におけるグローバルな課題と社会科教育

コーディネーター : 井田 仁康 (筑波大学) 桑原 敏典 (岡山大学)

シンポジスト : 紙田 路子 (岡山理科大学)

國原 幸一郎 (名古屋学院大学)

小林 伸彦 (茨城大学)

須賀 忠芳 (東洋大学)

〔趣旨〕現在、様々な地球的課題が私たちの周辺で起こっています。ロシアのウクライナ侵攻に代表される紛争・平和の問題や地球温暖化の問題、それにともなう防災の課題、人権に関するニュースが日々我々の耳に入ってきます。こうしたグローバル課題は、実は遠い世界のものではなく、我々の地域の生活に直接関連してくる課題でもあります。日常、地域―学校で過ごしている我々は様々なグローバル課題を児童・生徒とともに、地域―学校でいかに考え、それらに対してどのように判断していくべきでしょうか。また社会科という一つの教科の中で、こうした課題に対してどのように対応することができるのでしょうか。今回のシンポジウムではそうした視点で、グローバル課題を、地域―学校、さらには社会科や社会認識にかかわる教科でどのように考えるかについて、登壇者の先生方のご提案をもとに検討してみたいと考えます。

## 6. 課題研究

### I. 社会科の探究的な学習における「問い」の役割

コーディネーター：篠崎 正典(信州大学) 杉本 憲子(茨城大学)

〔趣旨〕近年、教育の動向の中で主潮流となった「探究」過程を社会科における児童・生徒の「問い」の意味から考えてみたいと思います。社会科における「探究」は「社会的事象の見方・考え方」をベースに「課題」をどのように設定するかに関連すると考えられますが、そこに児童・生徒の「問い」が大きく関わってきます。また、そこには学習の個別化、体験や経験をどのように社会科で生かすのかという古くて新しい視点も含まれます。以上のことを前提にあらためて「問い」を検討したいと思います。

### II. 社会科におけるICT活用の新局面

コーディネーター：川崎 誠司(東京学芸大学) 藤瀬 泰司(熊本大学)

〔趣旨〕学校現場のICT環境はコロナ禍を背景に急激に整備され整ってきました。しかしながら機材は整備されたものの、それらを社会科教育の中で有効に活用する方途については未だ試行途上であることも事実です。現行の学習指導要領では、ICTを最大限に活用して「個別最適な学び」と「協同的な学び」の一体的な充実を図ることにより、児童生徒の資質・能力をよりよく育成することが目指されています。ICTを活用した授業をどのように開発・実践すれば、児童生徒の資質・能力をよりよく育成できるのでしょうか。学習eポータルやビッグデータ、ChatGPTなど、学校教育を取り巻くICT環境が刻々と変化するなか、社会科におけるICT利活用のこれまでとこれからについてあらためて考えてみたいと思います。

### III. 地域との連携・協働を通じた社会科授業の創造

コーディネーター：鈴木 允(横浜国立大学) 村山 朝子(茨城大学)

〔趣旨〕社会科における地域との連携については、これまでも様々な議論が行われてきました。近年は地域を社会科に持ち込むだけでなく、地域に児童・生徒が積極的に関わっていく社会参画・地域連携・協働の形で地域と社会科との連携が図られています。一方で、児童生徒が地域と関わる生活経験は、様々な社会的背景の中でますます希薄化したり、質的な変容が生じたりしています。児童生徒が地域のことを知り、地域の課題に気付けるような社会科授業をどのように展開するかが、これまで以上に問われているように思われます。こうした状況を踏まえ、地域との連携・協働を通じた社会科授業の可能性と課題を共有し、地域との連携を社会科でどのように考えていくのか、あらためて検討してみたいと考えます。

#### IV. 各教科・分野・科目等相互の関連を図った社会科の学習指導をどのようにするか

コーディネーター：磯山 恭子(国立教育政策研究所) 佐藤 公(明治学院大学)

〔趣旨〕 児童・生徒には、急速に変化する社会に積極的に向き合い、他者と協働して社会に見られる課題を解決したり、様々な情報を精査し再構成することで新たな価値を創造したりすることが求められています。このような中、社会科では、一時間の授業での学習に留まらず、各教科・分野・科目等相互の関連を図り、見通しをもった単元での学習を充実させることが必要とされています。公民としての資質・能力を児童・生徒に確実に育む、各教科・分野・科目等相互の関連を図った社会科の学習指導のあり方について、具体的な事例を踏まえ、議論を深めていきたいと思えます。

#### V. 教職大学院で社会科教師をどう育てるか

コーディネーター：桐谷 正信(埼玉大学) 宮崎 沙織(群馬大学)

〔趣旨〕 教職大学院は、昨今の政策における拡大方針により、ほぼ全ての都道府県で設置されています。特にその中で、従来の学校経営・管理領域や児童生徒指導領域に加え、教科指導領域の拡充がみられ、教科指導のリーダー的役割を担う教師の育成に取り組むコース等を新設した大学院もあります。これまでの修士課程で行ってきた社会科教師の育成に対して、教職大学院ではどのように社会科教師を育成していくのか。本課題研究では、教職大学院で取り組む社会科教師の育成に焦点化し、具体的な事例を踏まえ、議論を深めていきます。

### 7. 大会参加の申込みについて

(1) 大会参加費：3,000円

(注) 大会参加の事前登録および参加費の支払いは6月14日(水)からです。本学会HPの【大会参加(事前登録)申込フォーム】で事前登録・参加費の支払い(クレジットカード決済)を行ってください。

(2) 大会参加の事前登録について

① 大会参加の事前登録は、本学会HPの【大会参加(事前登録)申込フォーム】から行ってください。申込・支払い終了後、自動返信メールが送信されます。自動送信メールが送られてこない場合は、株式会社コムラ(E-mail:jass73@kohmura.co.jp)までお問い合わせください。

※参加申込受付業務は株式会社コムラに委託しております。

②大会参加費のお支払いは、クレジットカード決済となります。申込フォームより、参加申込と併せて参加費のお支払いをお願いします。大会参加事前登録の締切は9月25日(月)です。事前登録をされる場合、緊急時の連絡先メールアドレスをご登録ください。全国大会の中止等、緊急時の連絡をいたします。

③事前登録を完了された方の参加のキャンセルは、株式会社コムラ(E-mail:jass73@kohmura.co.jp)までお問い合わせください。

④事前登録を完了された方には、大会前に登録された住所に『大会発表論文集』を郵送いたします。

### 8. 自由研究発表の申込み、シンポジウム・課題研究の要旨提出について

(1) 自由研究発表の申込者および大会当日の発表者は会員に限ります。自由研究発表は、一人当たり二つ(単独1件かつ連名1件、または連名2件)までといたします。シンポジウムと課題研究の発表はこれに

含みません。なお、自由研究発表日時等の希望にはお応えできない場合もあります。

- (2) 自由研究発表の申込みは、本学会 HP の【自由研究発表申込みフォーム】にて行います。申し込みは6月14日(水)から開始します。締切は7月22日(土)です。メールの添付ファイルあるいはFAX等では受け付けません。
- (3) 『大会発表論文集』の原稿枚数は自由研究2頁、課題研究・シンポジウムは2頁または4頁です。様式は昨年度と同様で、本学会 HP で確認してください。受付は本学会 HP の【大会発表論文集原稿アップロードフォーム】で行います。自由研究発表大会論文集アップロードの開始は8月8日(火)、締切は8月28日(月)です。メールの添付ファイルあるいはFAX等では受け付けません。
- (4) シンポジウム・課題研究の報告者の方も、本学会HPの【大会発表論文集原稿アップロードフォーム】に要旨をアップロードしてください。自由研究発表と同じく、開始は8月8日(火)、締切は8月28日(月)です。要旨ファイルの件名に【シンポジウム】【課題研究〇】と入れてください(〇は課題研究のI～Vの番号)。
- (5) 共同研究として複数の方が自由研究発表を申込みれる場合、申込みを行う代表者は会員である必要があります。非会員が含まれていても、連名で名前が記されている方はすべて参加申込および参加費の支払いが必要です。【大会参加(事前登録)申込フォーム】より個々に参加申込みをお願いします。申込終了後、「発表申込受付番号」が自動送信されます。自動送信メールが送られてこない場合、大会実行委員会まで直接お問い合わせください。
- (6) 自由研究発表の日時は、大会プログラム(2次案内も大会HP)に掲載します。
- (7) Zoomを用いて発表を行います。発表時間は20分、質疑応答10分の計30分です。
- (8) 当日の資料は、Web上に掲載いたします。受付は本学会HPの【大会発表資料アップロードフォーム】にて行う予定です。資料の容量は5MBまでとし、PDFにして10月15日(日)までにアップロードしてください。参加登録をした方のみ入ることができるWeb上にアップロードをして、大会当日から11月12日(日)の2週間、資料の閲覧を可能にします。

**【開始日・締切日一覧】**

○自由研究発表申込みの締切	: 7月22日(土)
○参加費、大会参加事前登録の開始	: 6月14日(水)
○『大会発表論文集』の原稿の締切	: 8月28日(月)
○参加費、大会参加事前登録の締切	: 9月25日(月)
○資料提出締切	: 10月15日(日)

**9. お問い合わせ先**

jass73gakugei.tsukuba@gmail.com 第73回全国研究大会事務局

※お問い合わせ等は、上記のメールにてお願いいたします。